

## 第 417 回集談会

1. 日時：2010年7月26日（月）16:30～
2. 場所：2A 講義棟（中央棟2階）
3. 座長：薬剤学 助教 林 貴史先生（内線3407）
4. 演者：臨床薬剤学 講師 岸川幸生先生（内線4410）
5. 演題：臨床薬剤師業務から考える薬学教育と研究
6. 要旨：薬学教育 6 年制は、薬剤師が医療の現場において、免許取得後直ちにそれまで習得した知識や技術を基にその任務を果たすことができることを目的に導入された。この背景には、医療技術の高度化、医療現場における薬剤師の役割の変化などがある。医療の現場では、高度化する医療を理解し対応できる能力が求められ、その一翼を担う職種として薬剤師の活躍が期待されている。薬剤師業務に必要な知識や技能の習得も然ることながら、臨床現場で研究を行い、有用な情報を収集、評価、提供し、論文として発信できる能力を持ったいわゆる研究マインドを持った薬剤師の育成が必要である。大学側の教育や研究もこれらの現状に対応しなければならない。

そこで、今回は医療現場における薬剤師の業務とそれに関わる研究を紹介し、今後の薬剤師育成の在り方について考察する。